

日本テレビ放送網 生田第2スタジオ



所在地：神奈川県川崎市多摩区菅仙谷3丁目20番1号
 スタジオ面積：707㎡
 ホリゾント高：9m
 施主：日本テレビ放送網株式会社
 照明改修施工：東芝エリティーエンジニアリング株式会社
 照明改修完成：平成24年6月

S178

歴史ある日本テレビ生田第2スタジオが、照明・調光設備等を全面改修。
 デジタル放送時代のドラマ撮影に最適化された安全性の高いスタジオ照明システムが完成しました。

ゴールデンタイムを牽引するドラマ撮影スタジオが照明設備を全面改修

多摩丘陵に位置する日本テレビ生田スタジオは、1964年に完成し、1980年代の改築を経て現在に至る歴史ある撮影スタジオで、現在も日本テレビ系列の主要なドラマを中心に撮影が行われており、数々の名作ドラマを誕生させています。今回、照明改修が行われたのは、4階に位置する第2スタジオ。調光、バトン昇降システムを含めた全面改修によって、最近における演出方法の多様化とスピーディなテンポに対応するドラマ制作用デジタル放送スタジオにふさわしい、最適化・スリム化を目的としたものです。

安全性を高めると同時に、ドラマ撮影用として最適な照明システムを構築

今回の改修における主なコンセプトは2つ。ひとつは調光設備全体をドラマ撮影用に最適化・スリム化すること、もうひとつはバトン昇降装置の安全性の向上でした。

安全性の向上については、バトン昇降装置に積載量検知機能を搭載すると同時に、突き上げ、乗り上げ、引っ掛け、突き下げといった挙動への安全装置を追加搭載しました。また、平行した2本のバトンを連結して使用する渡しバトンにも落下防止機構が追加搭載され、安全性の向上を図っています。

照明装置の最適化については、照明システム全体をインテリジェント化することによって迅速に操作が可能な環境を実現しました。調光操作卓には、シンプルで無駄のない、使いやすい調光操作卓「バーサステーション」を採用しました。ドラマ向けに仕様を最適化し、プリセットフェーダ120本×3段、200シーン×4場面メモリーを有しており、実明かり、メモリー値とともに瞬時に再生・仕込み・修正など、ワンマン操作を可能にしています。さらに、スタジオフロアでも調光操作卓と同様の機能（シーン再生・仕込み・修正・記憶操作）が得られるタブレット型PCを使用した、照明用ワイヤレスを採用しています。また、調光卓下部には万一の故障時の際にも回路ごとに直点灯が可能なバックアップスイッチを収納しています。



エリアバトン、アッパー・ホリゾントバトン、バックバトン、美術バトン等が整然と並ぶ



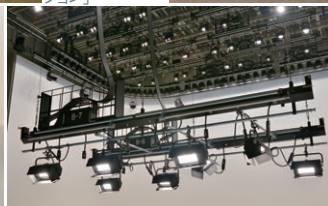
調光操作卓「バーサステーション」



バックアップスイッチ（ワゴン型）



照明バトン操作卓、美術リモート操作卓



照明バトン（渡しバトン使用時）



主幹盤、調光器盤

納入装置一覧

設置場所	装置名	概要
副調整室	調光操作卓（バーサステーション PF3段仕様）	PF120本×3段、SM10本×10ページ、バックアップシーン 6シーン、200シーン×4場面メモリー、クロスフェーダ1組、外部記憶CF、SD チェイス99パターン×40ステップ（最大1000ステップ）
	バックアップスイッチ（ワゴン型）	
	VE卓用カメラ調整パネル	
SCR室	インテリジェント形調光器盤（DIMSTAR-III）	調光器4kW×284台、調光器6kW×51台、調光器10kW×22台、直回路6kW×11台、回路監視機能（ファン異常、温度異常、電源異常、漏電、MCCB OFF、過負荷、回路異常）
カメラ倉庫	カメラ庫用調光器盤	
	照明器具	
スタジオ	照明用ワイヤレス操作器（タブレット型PC）	安全装置搭載（積載量検知機能他）、渡しバトン落下防止機構、乱巻き防止装置付き
	DMXコネクタパネル	
	フロアコンセントボックス	
	照明バトン×61	
	照明バトン操作卓・操作盤・制御盤 美術バトン×20 一点吊美術バトン×74 美術リモート操作卓・操作盤・制御盤	
	高さ設定機能、吊過ぎ防止機能付き	